

膀胱用超音波画像診断装置

リリアム[®] IP 200

アクセサリー 説明書



～お願い～

- 株式会社リリアム大塚の許可なく本書の一部または全部を作り変えたり、無断で転載したり、あるいはいかなる方法においても転送することを禁止します。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

本書の内容について不明な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、「株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター（裏表紙参照）」までご連絡ください。

目次

1. アクセサリー	
1.1. アクセサリーについて	2
1.2. アクセサリー使用方法	4
1.2.1. 残尿測定用アダプタ<別売>	4
1.2.2. 残尿測定用クリップ<別売>	5
1.2.3. 定時測定用ジェルパッド	6
1.2.4. 水スプレー	6
1.2.5. リリアムテープ	7
1.2.6. 角度補正具<別売>	8
1.2.7. ポケット付固定帯	9
1.2.8. 定時測定用ポーチ<別売>	9
1.2.9. 残尿測定用ポーチ<別売>	9
1.2.10. 専用プリンタ (A012-01) <別売>	10
1.2.10.1. 製品構成	10
1.2.10.2. 各部の名称	11
1.2.10.3. ご使用前の準備	13
1.2.10.4. ご使用方法	15
1.2.10.5. お手入れ	23
1.2.10.6. プリンタの状態表示	23
2. 排尿日誌作成	
2.1. 画面説明	24
2.2. ダウンロード方法	26
2.2.1. 「測定データ読み取りアプリ」のダウンロード	27
2.2.2. 「排尿日誌アプリ」のダウンロード	31
2.3. 排尿日誌作成手順	33
2.3.1. (参考)「排尿日誌アプリ」による排尿日誌を作成するにあたって	33
2.3.2. 定時測定データの読み取り・保存	34
2.3.3. 「排尿日誌アプリ」による排尿日誌作成例	39
2.3.4. (参考)定時測定データの編集	42
2.3.4.1. 「リリアム IP200」本体からの編集	42
2.3.4.2. パソコンに取り込んだ定時測定データからの編集	43
2.3.5. 残尿測定データの読み取り・保存	45
2.3.6. Bluetooth通信がうまくいかない場合	48

※問い合わせ先

株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター.....裏表紙

1. アクセサリー

1.1. アクセサリーについて

※仕様等は、予告なく変更になる場合があります。

リリアムジェル 250

プローブ部のラベルを貼っていない面（測定面）に塗ることにより、プローブ部と皮膚の間の空気を遮断します。

リリアムジェル 250 は、測定しやすい固さになっています。



単 3 形乾電池（初回同梱 2 本）

本体を動かすために 2 本必要です。



残尿測定用アダプタ<別売>

本体側に固定し、反対側にプローブ部を取り付けることで、片手操作が可能になります。



残尿測定用クリップ<別売>

プローブ部に取り付けることで、直接プローブ部に触れずに操作が可能になります。



定時測定用ジェルパッド

定時測定の際にプローブ部のラベルを貼っていない面（測定面）に貼り付け、プローブ部の体表面への固定に使用します。



リリアムテープ

定時測定の際にプローブ部を皮膚に固定するために使用します。



水スプレー

ジェルパッド
使用時に、ジェ
ルパッド表面に
水を噴霧するた
めに使用します。



角度補正具<別売>

定時測定の際に、下腹部が
出ている方に対して角度補正
のために使用します。

10度・15度・20度の3種
類から体型に合わせて選択し
てください。



ポケット付固定帯

定時測定の際にプローブ部を固定した
後、固定帯を使用すると、より安定した
測定ができるようになります。

ポケット部に本体を収納可能です。



定時測定用ポーチ<別売>

定時測定する際に
使用します。ポーチ
に入れながら、測定
中の画面を確認する
ことも可能です。



残尿測定用ポーチ<別売>

本体およびア
クセサリーなど
の持ち運びに使
用します。



専用プリンタ (A012-01) <別売>

本体のデータを
プリントアウトし
ます。感熱紙を使
用しています。



1.2. アクセサリー使用方法

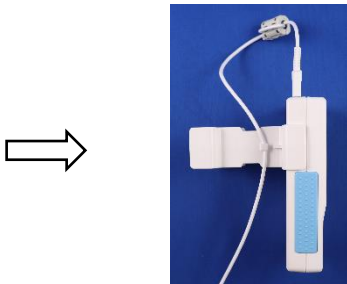
1.2.1. 残尿測定用アダプタ<別売>



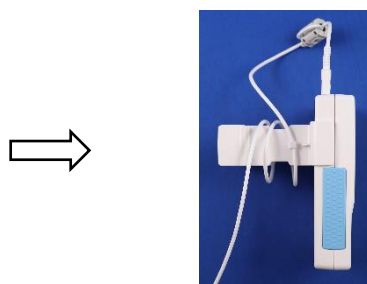
<ポイント>

アダプタを溝にはめた後、上下に少しずらすと、しっかりはまります。

①本体側面の溝にアダプタを固定します。



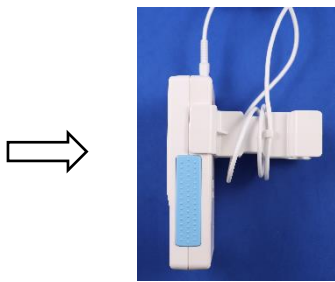
②プローブケーブルを横のツメにかけます。



③プローブケーブルをアダプタに巻き付けます。

<注意>

プローブケーブルを強く巻き付けると、断線の原因になりますのでご注意ください。



④プローブケーブルをもう1つのツメにかけます。



⑤プローブ部のラベルを貼ってある面が内側になるように、プローブ部を溝にはめます。

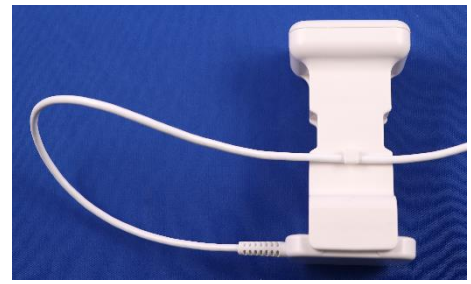


⑥写真のように片手で測定が可能になります。

<注意>

使用時に腹部を強く押しすぎないように、十分ご注意ください。

1.2.2. 残尿測定用クリップ<別売>



①プローブ部のラベルを貼ってある面が内側になるように、プローブ部を溝にはめます。

②プローブケーブルを横のツメにかけます。



③プローブケーブルをクリップに巻き付け、もう1つのツメにかけます。

④写真のようにプローブクリップを持って測定が可能になります。

<注意>

使用時に腹部を強く押しすぎないように、十分ご注意ください。

1.2.3. 定時測定用ジェルパッド

1.2.4. 水スプレー



①外袋を開封し、中から
ジェルパッドを取り出し
ます。

②透明の保護シートを
片面だけをはがします。



③プローブのラベルを
貼っていない面（測
定面）にジェルパッ
ドを貼り付けます。

④反対側の透明の保護シート
をはがします。

<ポイント>

気泡が入らないように貼っ
てください。気泡が入っ
ている場合には、指で気泡を
押し出してください。

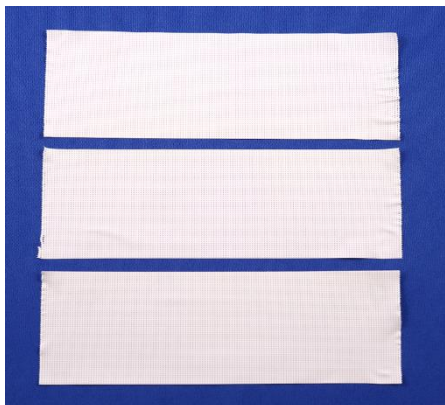


<注意>

ジェルパッドは、
1回使用ごとに
交換してください。

⑤水を入れた水スプレーを
ジェルパッド全体に3~5回
吹きかけて使用します。

1.2.5. リリアムテープ



①事前にリリアムテープを適度な長さに切って準備しておきます。



②1枚目をプローブとの隙間を出来るかぎりなくすように貼ります。



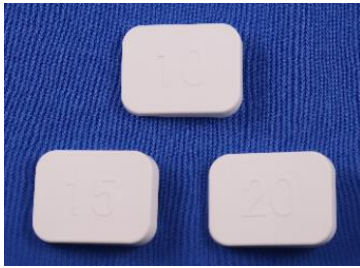
③2枚目を上部に貼ります。
(プローブケーブルも一緒に固定できます)



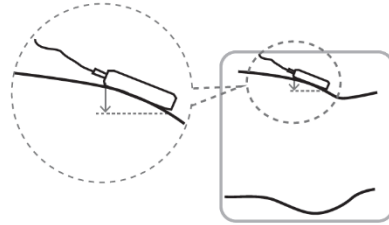
④3枚目を下部に貼ります。

1.2.6. 角度補正具<別売>

※残尿測定の際には必要ありません。



仰臥位であればベッドと平行になる程度の角度補正具を選択します。



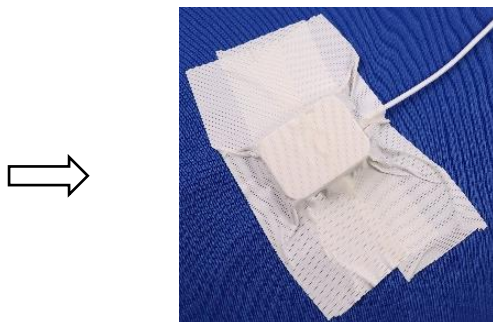
①事前に体型に合わせて適当な角度補正具を選択し、定時測定の準備をします。

②プローブの上からそのまま角度補正具を重ねます。
※角度補正具の厚みのある方が頭部方向



③1枚目をプローブとの隙間を出来るかぎりなくすように貼ります。

④2枚目を上部に貼ります。



⑤3枚目を下部に貼ります。

⑥固定帯を適度な圧がかかる程度に巻き付けます。

1.2.7. ポケット付固定帯



プローブをあてた位置に固定帯を巻きます。



本体を収納できるポケットが付いています。

1.2.8. 定時測定用ポーチ<別売>



ポーチの底部にあるパーツを取り除いて使用しても構いません。



写真のように本体を収納してご使用ください。

<注意>

ポーチから本体が落ちないように気をつけてご使用ください。

1.2.9. 残尿測定用ポーチ<別売>



写真のように本体およびアクセサリを持ち運ぶ際に使用します。

1.2.10. 専用プリンタ（A012-01）＜別売＞



使用上の注意等の詳細は、「専用プリンタ（A012-01）説明書」をご参照ください。

1.2.10.1. 製品構成

◇専用プリンタおよび同梱品

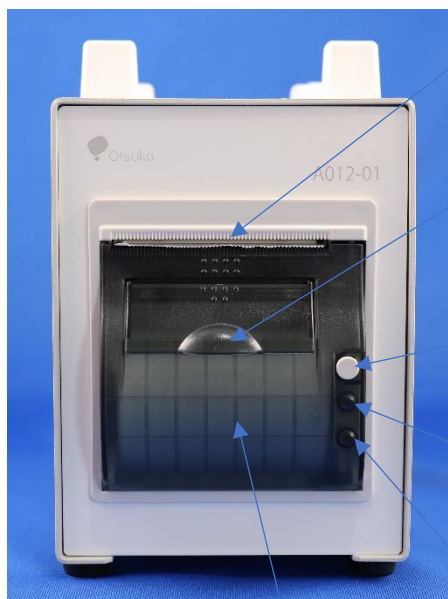


仕様等は、予告なく変更になる可能性があります。

- ①専用プリンタ（A021-01）
- ②電源コード
- ③電源プラグ変換アダプター
- ④プリンタ用感熱紙 2個
- ⑤説明書

1. 2. 10. 2. 各部の名称

◇本体正面



ペーパーカバー

ペーパーカッター

感熱紙を切断する際に使用します。

開閉レバー

ペーパーカバーを開閉する際に使用します。

フィードスイッチ

紙送りをする際に使用します。

POWER ランプ（上段）

プリンタの電源入／切を確認する際に使用します。

ERROR ランプ（下段）

プリンタのエラー状態を示します。

◇本体背面



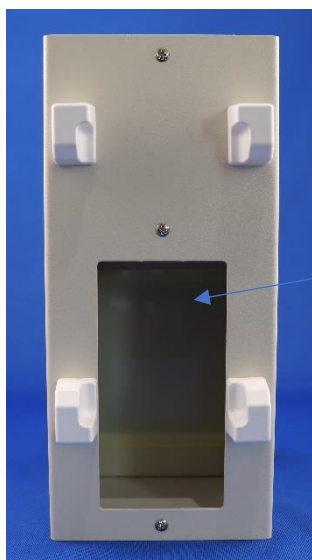
電源スイッチ

プリンタの電源の入／切をする際に使用します。

電源コネクター

付属の電源コードを接続します。

◇本体上部



本体収納スペース

残尿測定用アダプタを取り付けた状態で
「リリアム IP200」本体を保管可能です。

※専用プリンタからの印刷の際に、
この場所に置く必要はありません。

1. 2. 10. 3. ご使用前の準備

◇プリンタ用感熱紙のセット

①プリンタ用感熱紙がセットされているか確認してください。

初回使用時およびプリンタ用感熱紙がセットされていない場合は、プリンタ用感熱紙を次の手順でセットしてください。

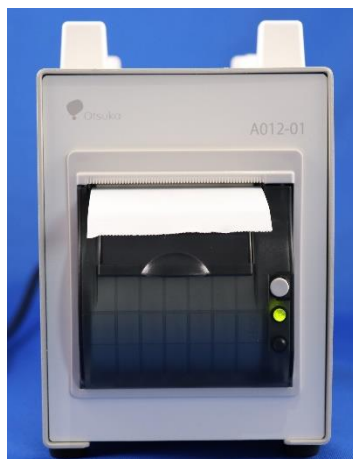
②開閉レバーを指で上に引き上げ、そのまま手前に引くと、ペーパーカバーが開きます。



開閉レバー



③プリンタ用感熱紙を下の写真を参考にして、切れ端が上方向になるようにセットします。感熱紙の先端が上部隙間から外側に出るように注意しながら、ペーパーカバー上部中央を押して閉じてください。余分な感熱紙をペーパーカッター部分で切断してください。



◇電源を入れる/切る

①本体背面にある電源コネクタに
付属の電源コードを接続します。

②しっかりと接続したことを確認後、
電源プラグをコンセントに差し込みます。

※付属の電源コードは 3P プラグと
なっています。コンセントが 2P
ソケットの場合には、付属の電源
プラグ変換アダプターを差し込んで
からご使用ください。



③電源スイッチの「|」側を押して、電源を
入れます。

④プリンタ前面にある「POWER ランプ」
が緑色に点灯していることを確認して
ください。

⑤印刷終了後に電源を切る場合は、電源
スイッチの「○」側を押してください。



POWER ランプ 点灯



ERROR ランプ 点灯

1.2.10.4. ご使用方法

◇専用プリンタからの印刷

専用プリンタからの印刷は、全て「リリアム IP200」本体側で操作します。「リリアム IP200」本体の操作は、専用プリンタの近くで行ってください。

※専用プリンタ上部の本体収納スペースに「リリアム IP200」本体を置く必要はありません。

※本製品は、Bluetooth (Class2) を採用しています。電波到達距離の目安が最大 10m と規定されていますが、これはあくまで規格値であり、使用する機器や環境によって届かない場合があります。「リリアム IP200」本体をできる限り専用プリンタの近くで操作することをお勧めします。

◇専用プリンタの登録・登録削除

【登録】

初めて専用プリンタを使用する場合には、「リリアム IP200」本体から使用する専用プリンタを登録する必要があります。

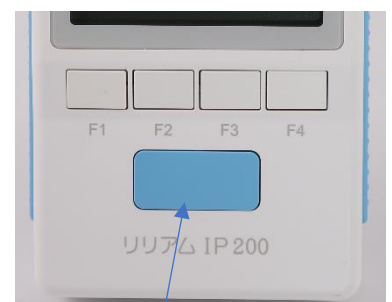
測定実施前に登録設定を済ませておくことをお勧めします（以下に、事前に登録設定をする方法を示します）。

※一度登録すれば、登録されたプリンタは毎回登録する必要はありません。

※登録したプリンタとは異なるプリンタを使用する場合には、その都度登録し直す必要があります。

<事前に登録設定をする方法>

- ①専用プリンタの電源を入れます（P. 14 参照）。
- ②「リリアム IP200」本体に単 3 形乾電池 2 本（充電式電池も可）を入れ、プローブも接続します。



決定開始ボタン


③決定開始ボタンを押し、電源を入れます。

④再度決定開始ボタンを押します。

※大きな数字の点滅が止まります。



⑤F2 キー () を押します。


⑥初めて専用プリンタを使用する場合には、画面中央に「-----」と表示されます。

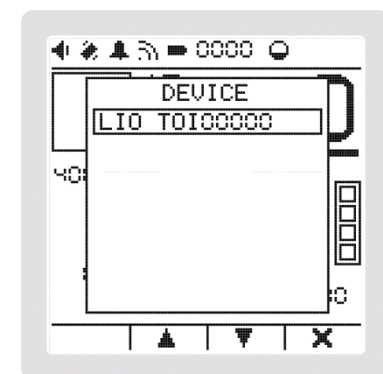
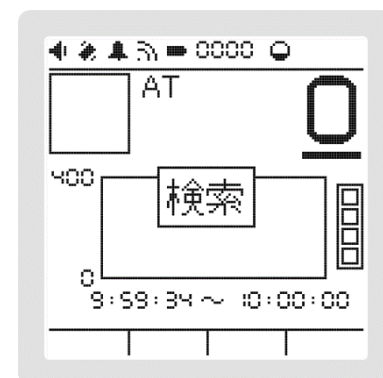
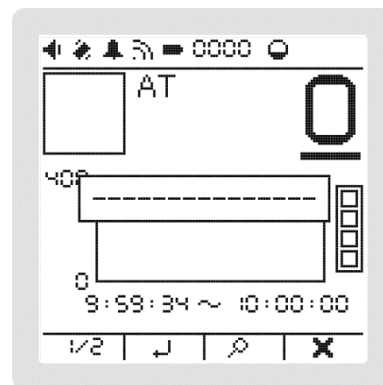
⑦F3 キー () を押します。画面中央に「検索」と表示されます。

⑧しばらくすると検索結果が表示されます。





⑨決定開始ボタンを押すと、選択中の専用プリンタが登録され、前の画面に戻ります。
「LI0 (シリアル番号)」が専用プリンタです。
専用プリンタ背面にある製造番号と一致していることを確認してください。

※複数のデバイス(「リリアム IP200」本体)が検索された場合は、登録するデバイスをF2 キー () ・F3 キー () で選択します。

※途中で作業を中止する場合は、F4 キー () を押して前の画面に戻ります。



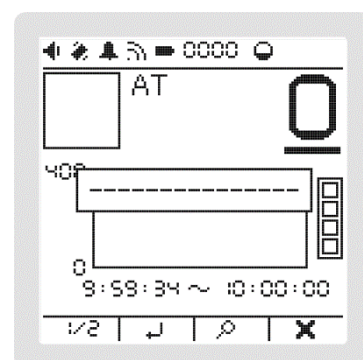
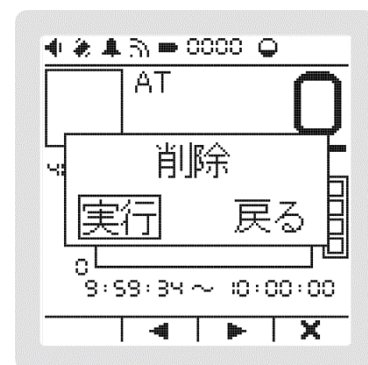
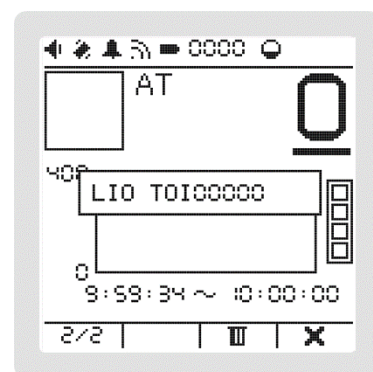
【登録削除】

- ①「リリアム IP200」本体に単3形乾電池2本（充電式電池も可）を入れ、プローブも接続します。
- ②決定開始ボタンを押し、電源を入れます。
- ③再度決定開始ボタンを押します。
※大きな数字の点滅が止まります。
- ④F2キー（）を押します。
- ⑤F1キー（1/2）を押します。
- ⑥F3キー（）を押します。
- ⑦F2キー（）・F3キー（）を押して「実行」を選択します。
- ⑧決定開始ボタンを押して、削除を実行します。
画面中央に「-----」と表示されます。

※途中で作業を中止する場合は、F4キー（×）を押して前の画面に戻ります。





決定開始ボタン



◇残尿測定データの印刷

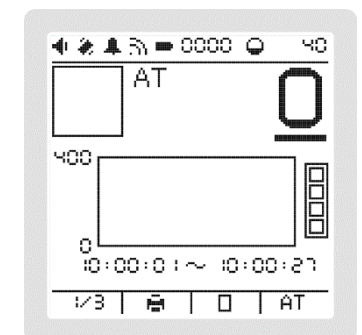
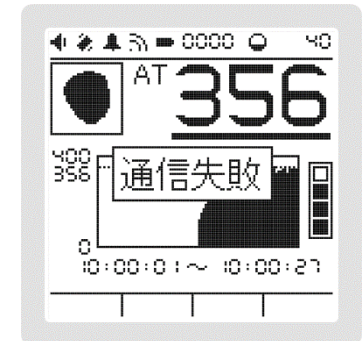
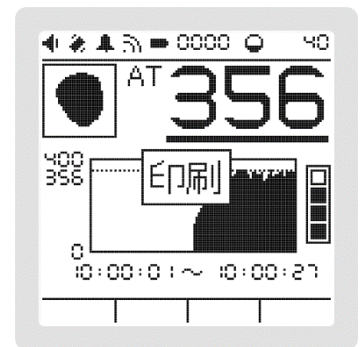
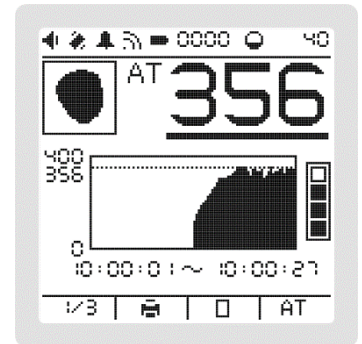
【現在の測定値の印刷】

- ①専用プリンタの電源を入れます（P. 14 参照）。
- ②残尿測定モードの測定手順（「リリアム IP200」取扱説明書第 1 版 P. 36 参照）に従って測定します。
- ③F2 キー（）を押します。
- ④F2 キー（）を押すと、登録された専用プリンタから印刷を開始します。
※画面中央に「———」と表示される場合は、専用プリンタの登録設定をしてください（P. 15 参照）。
- ⑤印刷が終了すると、測定結果画面に戻ります。

※通信に失敗した場合

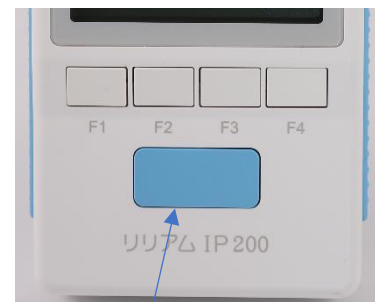
専用プリンタとの通信に失敗した場合は、画面中央に「通信失敗」と表示されます。専用プリンタの電源が入っていることを確認し、再度印刷してください。

※途中で作業を中止する場合は、F4 キー（×）を押して前の画面に戻ります。






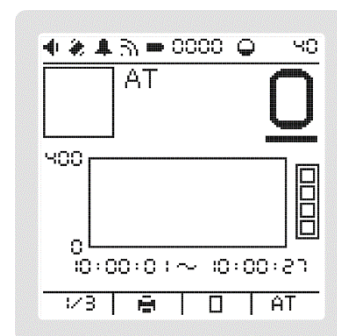
【保存した測定値の印刷】



- ①専用プリンタの電源を入れます (P. 14 参照)。
- ②「リリアム IP200」本体に単 3 形乾電池 2 本 (充電式電池も可) を入れ、プローブも接続します。
- ③決定開始ボタンを押し、電源を入れます。



決定開始ボタン

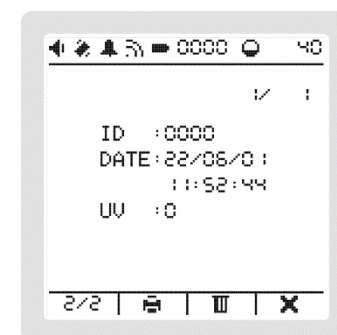
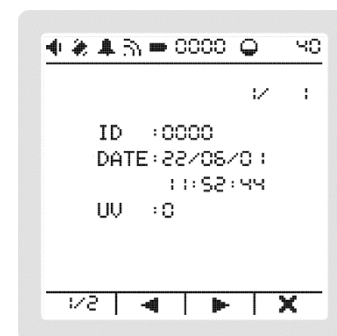
- ④再度決定開始ボタンを押します。
※大きな数字の点滅が止まります。
- ⑤F3 キー () を押します。
- ⑥F2 キー () ・ F3 キー () を押して、印刷する保存した残尿測定データを表示します。



- ⑦F1 キー (1/2) を押します。
- ⑧F2 キー () を押します。
- ⑨F2 キー () を押すと、登録された専用プリンタから印刷を開始します。

※画面中央に「-----」と表示される場合は、専用プリンタの登録設定をしてください (P. 15 参照)。

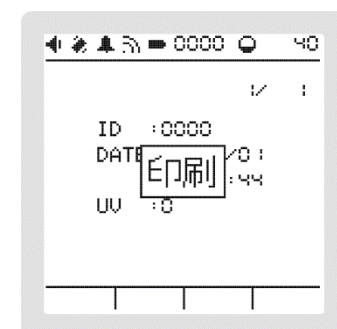
- ⑩印刷が終了すると、測定結果画面に戻ります。



※通信に失敗した場合

専用プリンタとの通信に失敗した場合は、画面中央に「通信失敗」と表示されます。専用プリンタの電源が入っていることを確認し、再度印刷してください。

※途中で作業を中止する場合は、F4 キー (×) を押して前の画面に戻ります。



【定時測定データの印刷】

- ①定時測定モードの測定手順（「リリアム IP200」取扱説明書第1版 P. 42 参照）に従って測定します。

※測定終了後、一度電源を切っても定時測定データは「リリアム IP200」本体に自動的に保存されています。定時測定データの保存に関する注意事項は、「リリアム IP200」取扱説明書第1版 P. 42 をご参照ください。


- ②専用プリンタの電源を入れます（P. 14 参照）。

- ③「リリアム IP200」本体に単3形乾電池2本（充電式電池も可）を入れ、プローブも接続します。

- ③決定開始ボタンを押し、電源を入れます。

※定時測定モードの画面になっていない場合には、以下の手順で定時測定モードの画面に切り替えてください。


◇決定開始ボタンを押し、位置決め画面になった場合

- ①大きな数字が点滅している状態で、F3 キー（）を押す。
- ②定時測定モードの画面に変わるので、次の手順④に進む。

※ここで決定開始ボタンを押さないように注意してください。

3日間以上経過した定時測定データが自動消去されてしまいます。

◇決定開始ボタンを押し、排尿タイミングモードの画面になった場合

- ①決定開始ボタンを長押しすると「測定停止」と表示され、指を離すと電源が切れます。
- ②決定開始ボタンを押し、電源を入れます。
- ③大きな数字が点滅している状態で、F3 キー（）を押す。
- ④定時測定モードの画面に変わるので、次の手順④に進む。

※ここで決定開始ボタンを押さないように注意してください。


3日間以上経過した定時測定データが自動消去されてしまいます。



決定開始ボタン

④F1 キーを 2 回押し、(3/4) 画面に切り替えます。

⑤F2 キー () を押します。

⑥F2 キー () を押すと、登録された専用プリンタから印刷を開始します。

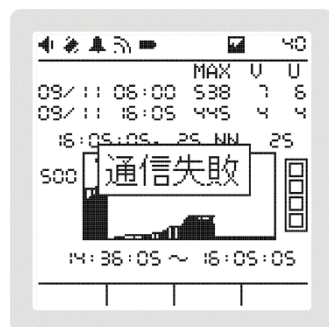
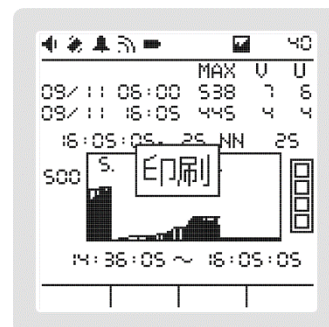
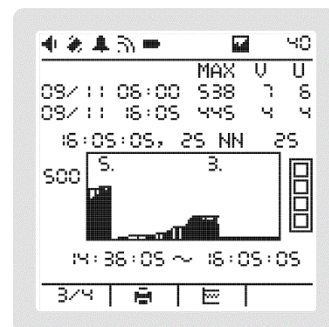
※画面中央に「———」と表示される場合は、専用プリンタの登録設定をしてください (P. 15 参照)。

⑤印刷が終了すると、測定結果画面に戻ります。

※通信に失敗した場合

専用プリンタとの通信に失敗した場合は、画面中央に「通信失敗」と表示されます。専用プリンタの電源が入っていることを確認し、再度印刷してください。

※途中で作業を中止する場合は、F4 キー (×) を押して前の画面に戻ります。



◇印刷結果

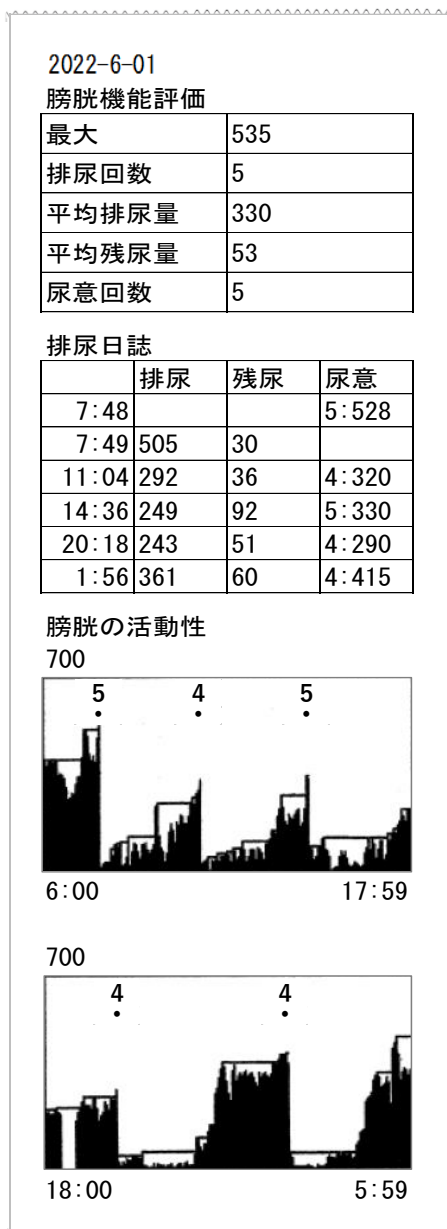
【残尿測定データ】

*** IP200 ***

S/N: UOI00000
ID: 0000
時刻: 22/06/01 11:22:33

尿量: 0ml

【定時測定データ（排尿日誌）】



1.2.10.5. お手入れ

【清掃方法】

プリンタの清掃は、感電・故障を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

◇清掃する時は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。

◇プリンタ外部が汚れている場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

◇アルコールやベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

1.2.10.6. プリンタの状態表示


プリンタの状態を「POWER ランプ」と「ERROR ランプ」で確認できます。

◇プリンタの状態とエラー表示

プリンタの状態	ランプ表示		対処方法	関連頁
	上段・緑色 (POWER ランプ)	下段・橙色 (ERROR ランプ)		
印刷可能/印刷中	点灯	消灯	そのまま使用可能。	15, 18
電源切	消灯	消灯	電源を入れてください。	14, 18
感熱紙未挿入	消灯	点灯	感熱紙をセットしてください。	15, 17
ペーパーカバー 解放状態	消灯	点灯	ペーパーカバーを閉じてください。	15, 17
内部故障	消灯	点灯	ペーパーカバーを閉じて もエラー状態から復帰し ない場合には、内部故障 の可能性があります。株 式会社大塚製薬工場 輸 液DIセンターへご連絡く ださい。	15, 17

2. 排尿日誌作成

2.1. 画面説明



株式会社リリアム大塚

排尿日誌

V220207A

⑥ ファイルの取り込み

⑦ 印刷

⑧ 補正

① 前日 翌日

② 開始日時 2022/3/20 7:50 終了日時 2022/3/21 6:33

③ 被験者ID 123456789 測定者 大塚

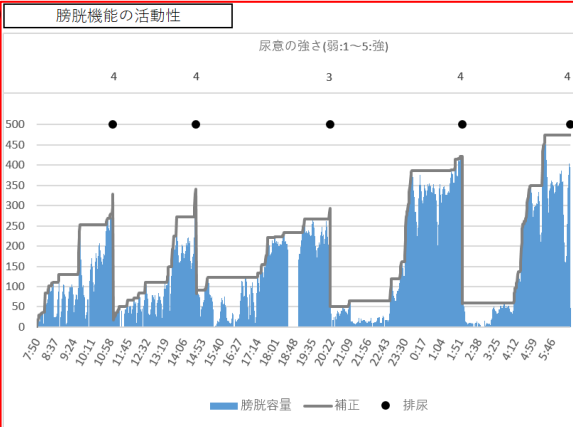
④ 時刻は0:00～23:59を入力してください。起床時刻 7:50 就寝時刻 2:00 翌朝の起床時刻 6:33

⑤ 更新

⑨ 排尿日誌 1 2 3

時刻	排尿	残尿	尿意
11:04	292	36	4:328
14:36	249	92	4:330
20:18	243	51	3:294
1:56	361	60	4:348
6:31			4:378
6:32	449	25	

⑩ 膀胱機能の活動性



⑪ 膀胱機能評価

最大膀胱容量	474
排尿回数	5
平均排尿量	318
平均残尿量	52
尿意回数	5

⑫ 膀胱機能評価の内訳

	尿量(ml)	排尿回数	失禁回数	失禁量(ml)	夜間尿量率(%)
昼間	1145	5	0	0	
夜間	449	0	0	0	28

セルが青色の部分は
名前や数値の入力をお願いします。

① 前日・翌日ボタン

排尿日誌の日時を変更します。

② 開始日時・終了日時

現在のページに表示されている日時です。

③ 被験者 ID・測定者

青色部分に任意データを入力可能です。

④ 起床時刻・就寝時刻・翌朝の起床時刻（入力画面）

青色部分に起床した時刻や就寝した時刻を入力します。

起床時刻と翌朝の起床時刻が②の時刻となります。

初期設定は、起床時刻 6 : 00、就寝時刻 22 : 00、翌朝の起床時刻 6 : 00 になっています。 **排尿日誌の編集 (P. 48)** を参考に各時刻を入力してください。

⑤ 更新ボタン

④の各時刻を入力した後に更新ボタンを押すと、データが更新されます。

⑥ ファイルの取り込みボタン

定時測定データを取り込みます。

⑦ 印刷ボタン

表示されている排尿日誌を印刷します。

⑧ 補正選択

グラフの補正表示の「あり・なし」を選択します。

⑨ 排尿日誌

取り込んだ定時測定データから、自動でここに排尿日誌を作成します。データが11件以上になると[排尿日誌2][排尿日誌3]に記載されます。排尿または尿意を記録した時刻が表示されます。

<表示説明>

- ・ 排尿…排尿量 (mL) ・ 残尿…残尿量 (mL)
- ・ 尿意…尿意の強さ:入力した時点の膀胱内尿量 (mL)

⑩ 膀胱機能の活動性

④に入力した「起床時刻」から「翌朝の起床時刻」までの定時測定結果の推移をグラフ表示します。

グラフ内の「・」は、排尿を記録したタイミングを示します。

グラフ上部の数字は、尿意の強さを記録したタイミングと強さを示します。

⑪ 膀胱機能評価

最大膀胱容量 (mL)・排尿回数 (回)・平均排尿量 (mL)・平均残尿量 (回)・尿意回数 (回) の各項目が自動計算されます。

⑫ 膀胱機能評価の内訳

昼間尿量 (mL)・昼間排尿回数・夜間尿量 (mL)・夜間排尿回数・夜間尿量率 (%) が自動計算されます。失禁回数と失禁量を記録している場合には、青色部分に任意入力可能です。

2.2. ダウンロード方法

排尿日誌作成には、以下の2種類のアプリのインストールが必要です。

- ◎測定データ読み込みアプリ
- ◎排尿日誌アプリ

以下、「株式会社リリアム大塚ホームページ (https://www.lilium.otsuka/)」からパソコンにインストールする手順となります。

※「測定データ読み取りアプリ DVD」からパソコンにインストールする方法は、「リリアム IP200」取扱説明書第1版 P.73 をご参照ください。「排尿日誌アプリ」は、株式会社リリアム大塚ホームページからのみインストール可能です。

- ①任意の検索サイトから「リリアム大塚」を検索します。
- ②[製品情報ページ]または[リリアム IP200]をクリックします。
- ③[各種ダウンロード]をクリックします。



④各アプリをクリックして、ダウンロードに進みます。

Otsuka 株式会社リリアム大塚

リリアム IP200 リリアム α-200 リリアムスポット2 企業情報 English

リリアム® IP200 製品仕様 測定動画 各種ダウンロード

関連アプリダウンロード

測定データ読み取りアプリ

測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアム IP200本体から測定データをPC上に取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについてはアクセサリ説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

排尿日誌アプリ

「排尿日誌アプリ」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「測定データ読み取りアプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。

動作確認済みソフトウェア
・Microsoft Excel 2013 ・Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/65.5 MB) >

排尿日誌アプリ (for Windows PC/127 KB) >

※排尿日誌作成には、2種類のアプリが必要です。「排尿日誌アプリ」のみでは、排尿日誌作成はできません。ご注意ください。

2.2.1. 「測定データ読み取りアプリ」のダウンロード

①[測定データ読み取りアプリ]をクリックします。

Otsuka 株式会社リリアム大塚

リリアム IP200 リリアム α-200 リリアムスポット2 企業情報 English

リリアム® IP200 製品仕様 測定動画 各種ダウンロード

関連アプリダウンロード

測定データ読み取りアプリ

測定データ読み取りアプリを用いることで、Bluetooth経由でリリアム IP200本体から測定データをPC上に取り込むことが可能です。アプリの取り扱いについてはアクセサリ説明書をご参照ください。ダウンロードしたファイル(自己解凍形式のファイル)は任意の場所に保存し、実行してください。ファイルをダウンロードした際に「WindowsによってPCが保護されました」との表示が出る場合がありますがその際には「詳細情報」をクリックし、「実行」を選択してください。

排尿日誌アプリ

「排尿日誌アプリ」では、Microsoft Excelのマクロ機能を用いた排尿日誌を提供します。「測定データ読み取りアプリ」で取り込んだ測定データを排尿日誌の形式で読み込み、膀胱機能評価および活動性を見ることができます。

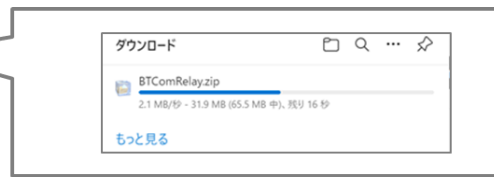
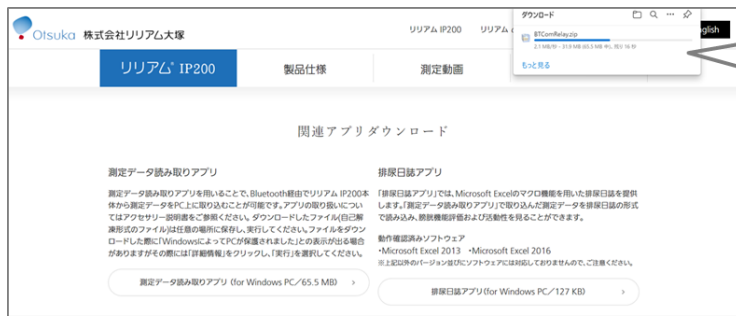
動作確認済みソフトウェア
・Microsoft Excel 2013 ・Microsoft Excel 2016
※上記以外のバージョン並びにソフトウェアには対応しておりませんので、ご注意ください。

測定データ読み取りアプリ (for Windows PC/65.5 MB) >

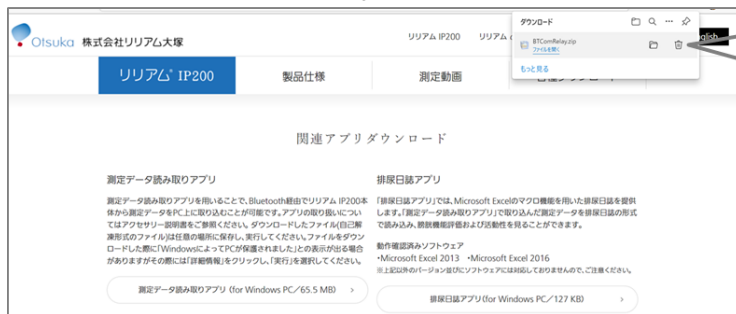
排尿日誌アプリ (for Windows PC/127 KB) >

「測定データ読み取りアプリ」をクリック

②自動的にダウンロードが開始され、完了したら[ファイルを開く]をクリックします。



自動的にダウンロードが開始されます



ダウンロードが完了したら「ファイルを開く」をクリックします

④[測定データ読み取りアプリ]をダブルクリックし、続けて[setup.exe]をダブルクリックする。

名前	更新日時	種類	サイズ
測定データ読み取りアプリ	2022/05/16 13:54	ファイル フォルダ	

「測定データ読み取りアプリ」をダブルクリック

名前	更新日時	種類	サイズ
DotNetFX462	2022/05/16 13:54	ファイル フォルダ	
setup.exe	2021/11/25 14:23	アプリケーション	556 KB
測定データ読み取りアプリ.msi	2021/11/25 14:23	Windows インストーラ...	1,467 KB

「setup.exe」をダブルクリック

⑤自動的にインストーラーが起動します。[次へ(N)]をクリックします。



自動的にインストーラーが起動します
その後に「次へ(N)」をクリック

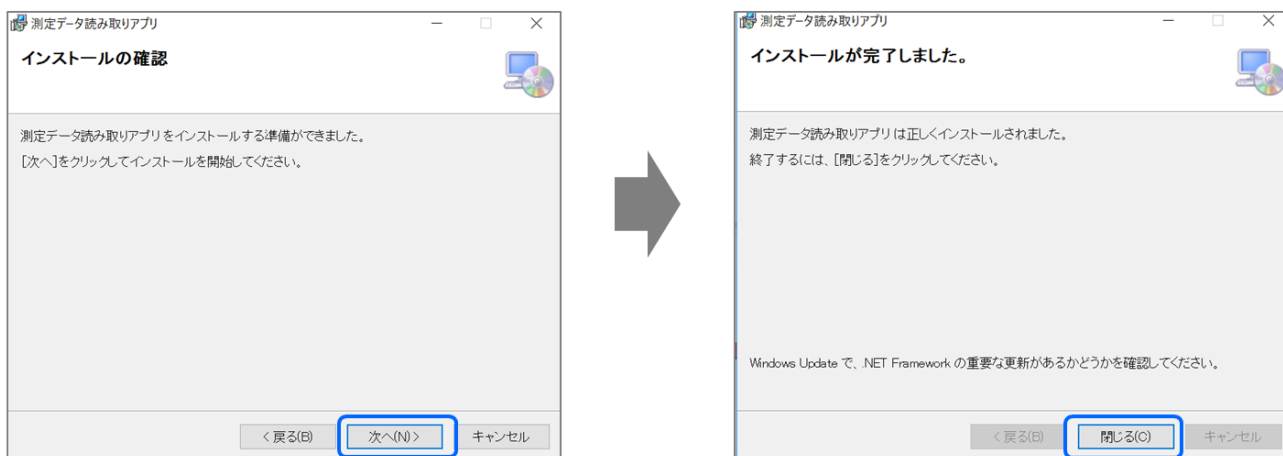
⑥「インストールフォルダーの選択」画面が表示されたら、フォルダーを変更する必要がなければ、そのまま[次へ(N)]をクリックします。



※フォルダーを変更する場合には
[参照(R)]をクリックし任意の
フォルダーを指定します

「インストールフォルダーの選択」画面が表示されたら
フォルダーを変更する必要がなければ、そのまま[次へ(N)]をクリックします

- ⑦ 「インストールの確認」画面が表示されたら、[次へ(N)]をクリックします。インストールが完了したら、[閉じる(C)]をクリックしてインストールを完了してします。



上の画面が表示されたら[次へ(N)]をクリックします
インストールが完了したら[閉じる(C)]をクリックして、インストールを完了します

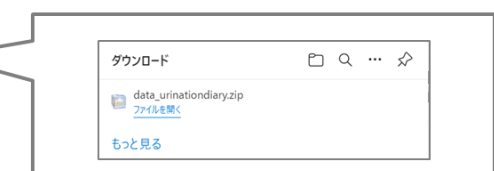
2.2.2. 「排尿日誌アプリ」のダウンロード

①[排尿日誌アプリ]をクリックします。

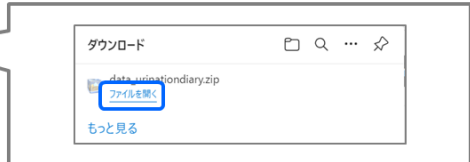


「排尿日誌アプリ」をクリック

②自動的にダウンロードが開始され、ダウンロードが完了したら、[ファイルを開く]をクリックします。



自動的にダウンロードが開始され、すぐにダウンロードが完了します。

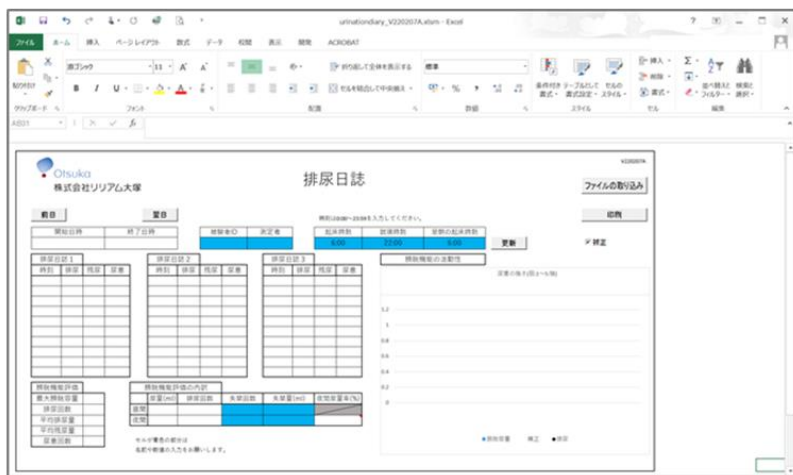


ダウンロードが完了したら「ファイルを開く」をクリックします

- ③ファイルが開いたら、ファイル（「排尿日誌アプリ（urinationdiary～」を右クリックし、任意の場所に保存します。

名前	更新日時	種類	サイズ
urinationdiary_V220207A.xlsm	2022/02/07 12:00	Microsoft Excel マクロ...	139 KB

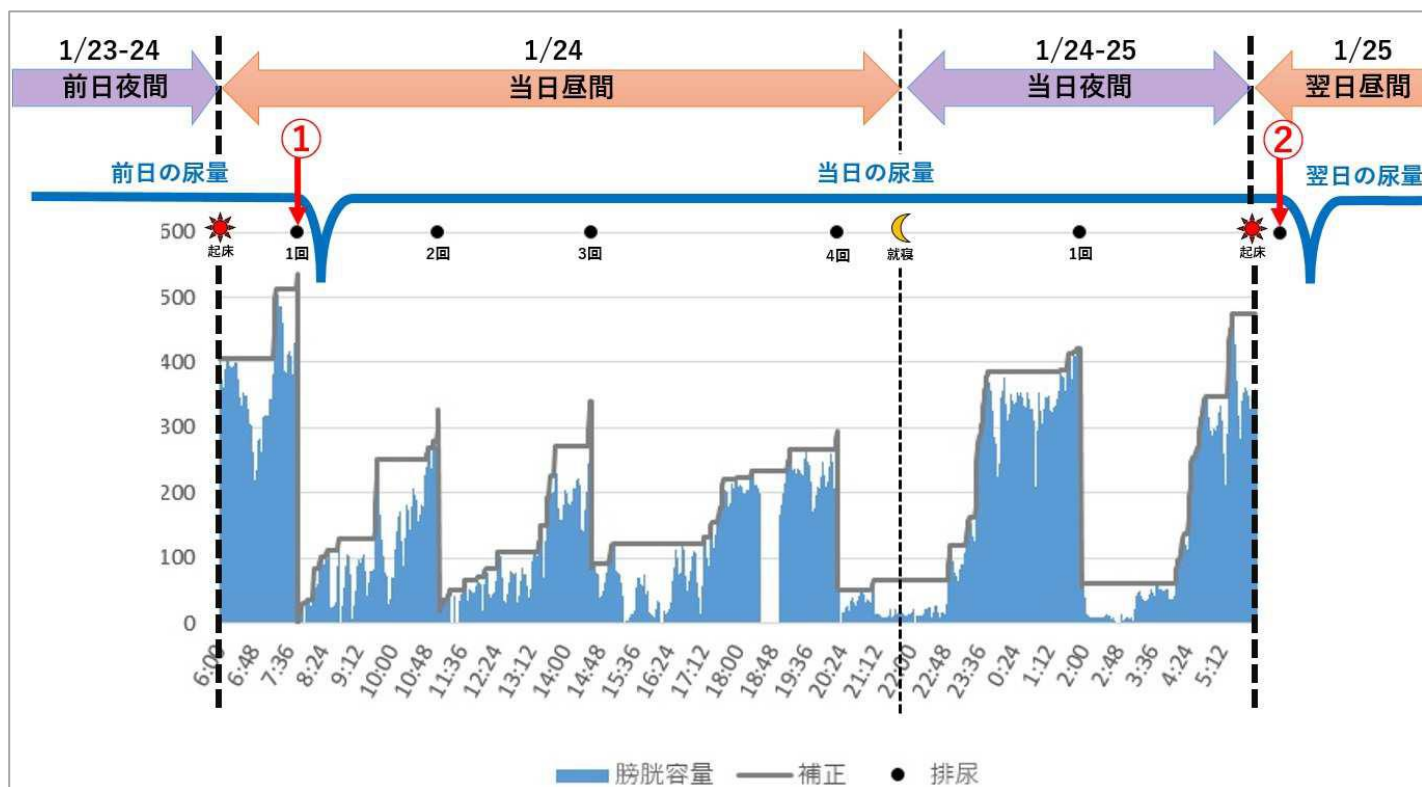
ファイル（「排尿日誌アプリ（urinationdiary～」を右クリックし、任意の場所に保存します



ファイル（「排尿日誌アプリ（urinationdiary～」をダブルクリックすると、「排尿日誌アプリ」画面が開きます

2.3. 排尿日誌作成手順

2.3.1. (参考)「排尿日誌アプリ」による排尿日誌を作成するにあたって



アプリの排尿日誌には、「起床時刻」から「翌朝の起床時刻」前までのデータが反映されます。

従来より作成されている排尿日誌では、

【①当日起床後1回目の排尿量は「前日夜間」の尿量とする】

【②翌日起床後1回目の排尿量は「当日夜間」の尿量とする】

とされており、アプリによる排尿日誌作成の際には起床時刻入力の工夫が必要になります。

※パターン把握のみが目的であれば、実際の起床時間の入力で問題ありません。

2.3.2. 定時測定データの読み取り・保存

①アプリ一覧より「測定データ読み取りアプリ」を起動します。



※任意でショートカットあるいはスタートピンにピン留めしている場合は、そちらをクリックします。

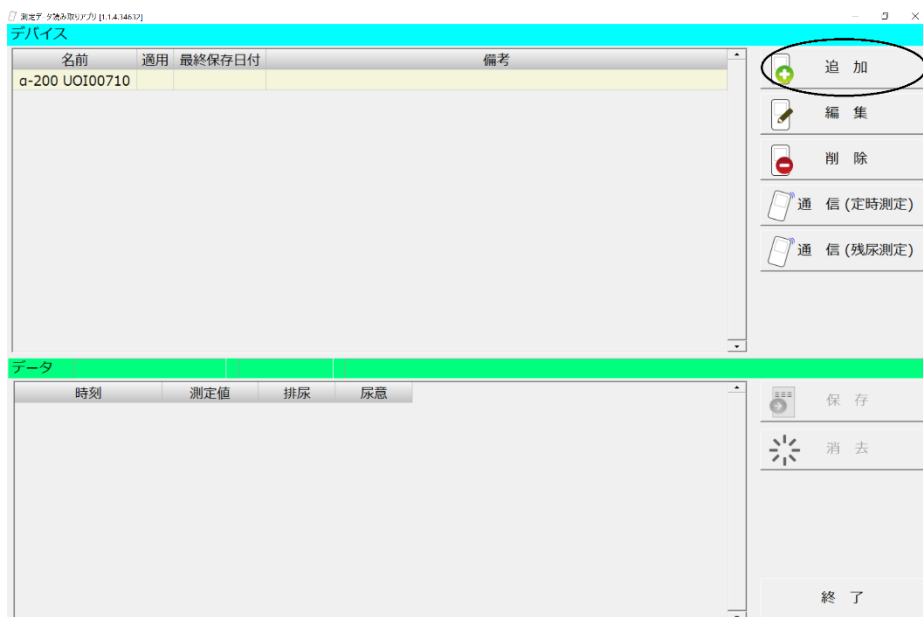
②アプリを起動した後、「リリアム IP200 (デバイス)」の電源を入れ、ご使用になるパソコンの近くに置きます。

※無線 (Bluetooth 通信) が「入」になっていることを確認してください。
残尿測定モード結果画面で 3/3 画面に切り替え後、「F2 キー」を押すと無線「入/切」を変更できます (リリアム IP200 取扱説明書第 1 版 P. 21 参照)。定時測定モードの画面では、1/4 画面で「F4 キー」を押すと無線「入/切」を変更できます (リリアム IP200 取扱説明書第 1 版 P. 25 参照)。

<③から⑥の手順は、初回使用時またはデバイス追加時のみ。>

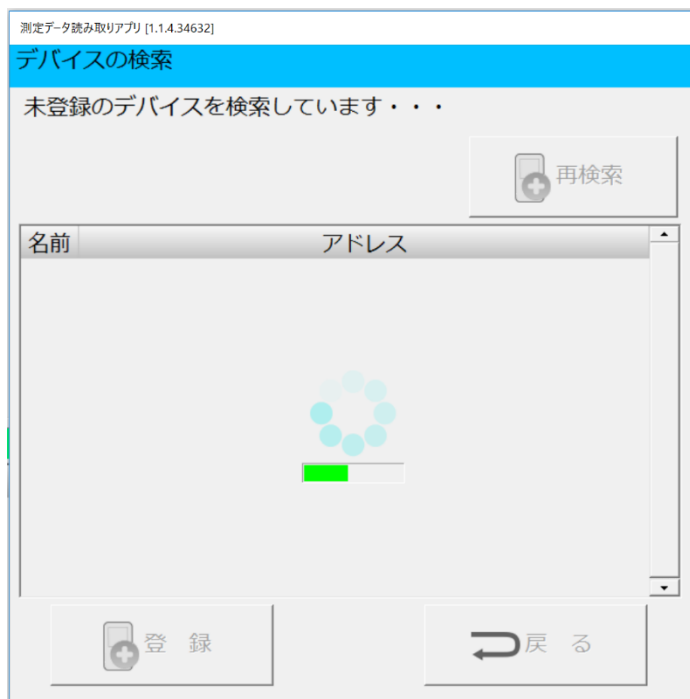
※既にデバイスを登録している場合は、手順⑦へ。

③画面右上の[追加]をクリックします。

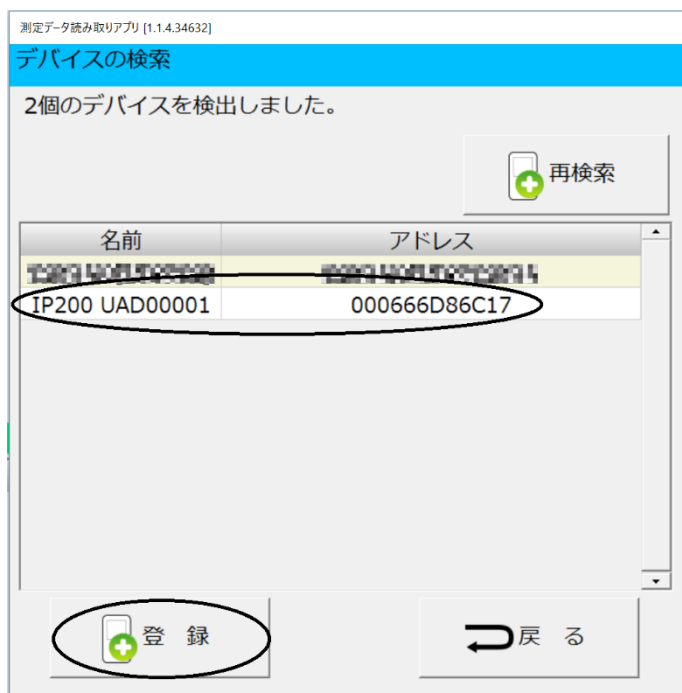


- ④ 「デバイスの検索」画面が表示され、パソコンの周辺にあるデバイスの検索を開始します。

※ 「リアム IP200」以外の Bluetooth 対応機器も同時に検索します。



- ⑤ デバイスの検索が終了すると、「デバイスの検索」画面に検索されたデバイスのリストが表示されます。登録したいデバイスをリストの中からクリックした後、[登録]をクリックします。



- ⑥ 「デバイスの登録」画面が表示されたら、[登録]をクリックします。
※必要時応じて、「適用・備考」欄に追加入力が可能です。

測定データ読み取りアプリ [1.1.4.34632]

デバイスの登録

デバイス名 (編集できません)

IP200 UAD00001

適用

(例) 3F泌尿器科病棟

備考

登録 戻る

<2回目以降、既にデバイスを登録済みの場合はこちらから>

- ⑦ (2回目以降はアプリを起動した後) 定時測定データが保存されている「リリアム IP200」の電源を入れ、ご使用になるパソコンの近くに置きます。
- ⑧ データを読み込みたい「リリアム IP200」をリストの中からクリックした後、[通信 (定時測定)]をクリックします。

測定データ読み取りアプリ [1.1.4.34632]

デバイス

名前	適用	最終保存日付	備考
α-200 UOI00710			
IP200 UAD00001	(例) 3F泌尿器科病棟		

追加
編集
削除
通信 (定時測定)
通信 (残尿測定)

⑨通信が終了すると、「データ」欄に定時測定データが表示されます。

※「リアム IP200」に定時測定データが保存されていない場合は、データの読み込みができません。

The screenshot shows the software interface with two main sections: 'デバイス' (Device) and 'データ' (Data). The 'デバイス' section contains a table with columns for '名前' (Name), '適用' (Application), '最終保存日付' (Last Save Date), and '備考' (Remarks). The 'データ' section contains a table with columns for '時刻' (Time), '測定値' (Measurement Value), and 'ID'. The 'データ' table shows the following data:

時刻	測定値	ID
21/11/25 12:14:00	117	0000
21/11/25 12:14:19	372	0000
21/11/25 12:14:40	288	0000
21/11/25 12:15:04	76	0000
21/11/25 12:15:29	274	0000
21/11/25 12:15:45	529	0000
21/11/25 12:16:14	0	0000

⑩定時測定データが表示されている状態で、[保存]をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the 'データ' (Data) section. The table displays the following data:

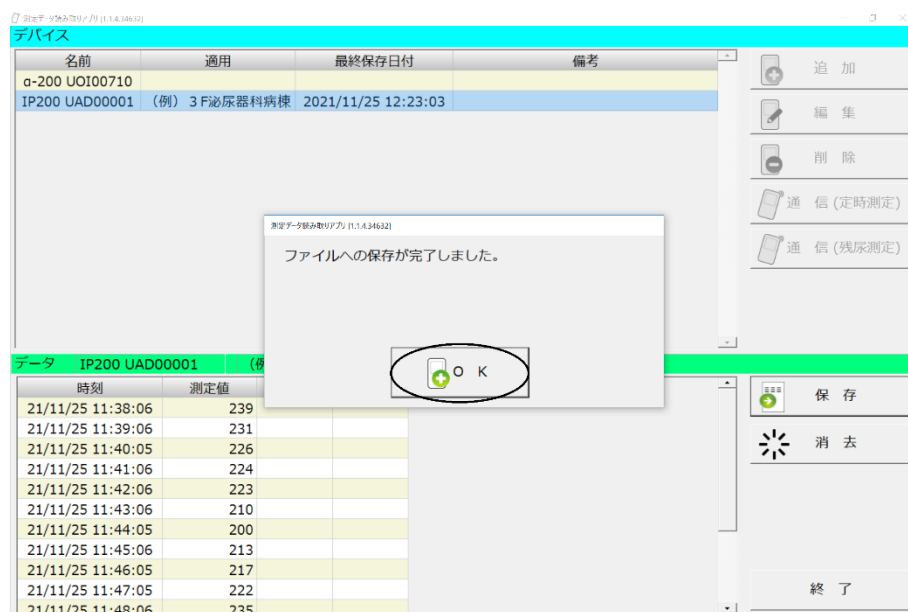
時刻	測定値	排尿	尿意
21/11/25 11:38:06	239		
21/11/25 11:39:06	231		
21/11/25 11:40:05	226		
21/11/25 11:41:06	224		
21/11/25 11:42:06	223		
21/11/25 11:43:06	210		
21/11/25 11:44:05	200		
21/11/25 11:45:06	213		
21/11/25 11:46:05	217		
21/11/25 11:47:05	222		
21/11/25 11:48:06	235		

The '保存' (Save) button is circled in red in the original image.

- ⑪ 「保存先ファイルを入力」画面が表示されたら、ファイル名を入力して任意の場所を選択し、[保存]をクリックします。



- ⑫ ファイルの保存が完了したら[OK]をクリックします。



ここまで「測定データアプリ」による作業は終了です。
続いて「排尿日誌アプリ」による作業へ進んでください。

2.3.3. 「排尿日誌アプリ」による排尿日誌作成例

- ①「2.2.2. ③」で任意の場所に保存した「排尿日誌アプリ (Excel)」を開きます。

※上部にポップ下記のようなアップが表示されている場合は、[コンテンツの有効化]をクリックします。

！ セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。

コンテンツの有効化

- ②[ファイルの取り込み]をクリック (①) し、編集する「定時測定データ」を選択し開きます。

排尿日誌

時刻は0:00~23:59を入力してください。

膀胱機能の活動性

尿意の強さ(弱:1~5:強)

膀胱機能評価

膀胱機能評価の内訳

セルが青色の部分は
名前や数値の入力をお願いします。

- ③取り込みが完了したら、[OK]をクリックします。

CSVファイルの取り込み

取り込みが完了しました

OK

⑤[印刷]をクリックすると任意のプリンタから印刷できます。

<排尿日誌印刷例>

※2~3日分の定時測定データがある場合には、1日ごとに印刷が必要です。



2.3.4. (参考) 定時測定データの編集

定時測定中に排尿・尿意の記録ができない場合、測定終了後に「リリアム IP200」本体またはパソコンに取り込んだ定時測定データから編集することが可能です。


2.3.4.1. 「リリアム IP200」本体からの編集


①電源を入れ、F3 キー () を押し、定時測定モード画面に切り替えます。

※この時、決定開始ボタンを押してしまうと定時測定が開始され、3日前より古いデータは自動的に消去されてしまいますのでご注意ください。

②定時測定モードの画面において、(2/4)画面に切り替えます。

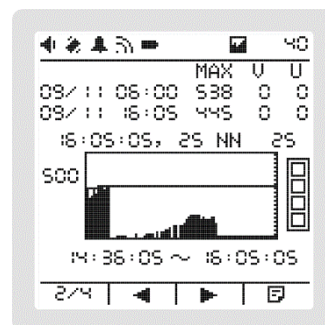
③F2 キー・F3 キーを押して編集したい過去の時間に移動します。


F2 キー () : グラフ上のカーソルを表示したい時刻に戻します。


F3 キー () : グラフ上のカーソルを表示したい時刻に進めます。


※短押し : カーソルが1分間分移動

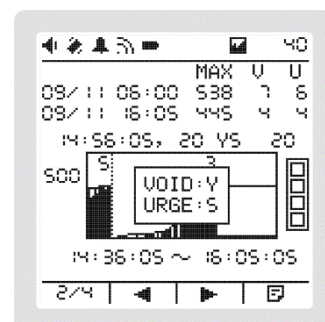
長押し : カーソルが90分間分移動




④編集したい過去の時間にカーソルを移動したら、F4 キー () を押し、排尿の有無または尿意を編集します。

F2 キー () : 押すごとにY(排尿あり)またはN(排尿なし)に切り替わります。

F3 キー () : F3 キーを押すごとに、1→2→…→5→N(画面上は表示なし)と進みます。



⑤編集が終了したら、F4 キー () を押します。

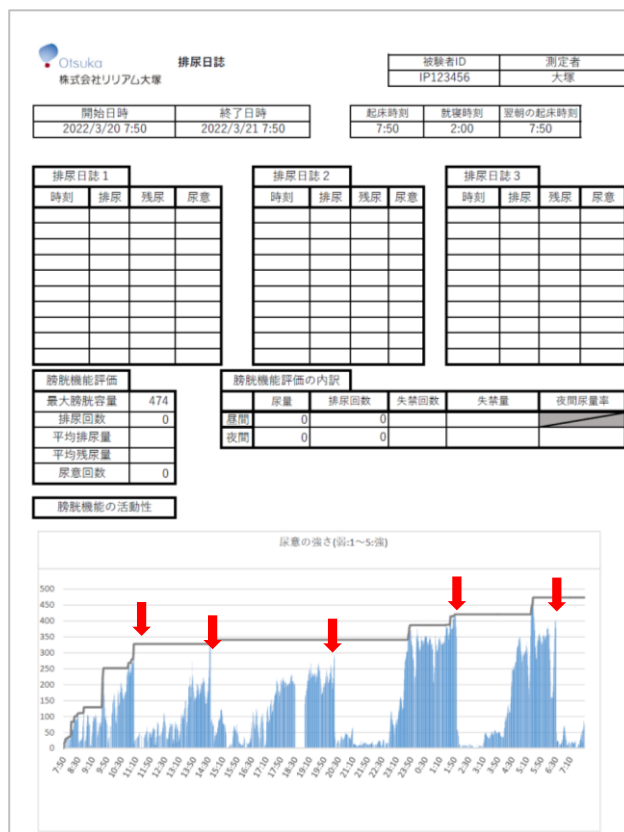
2.3.4.2. パソコンに取り込んだ定時測定データからの編集

①排尿日誌アプリを使用して、パソコンに取り込んだ任意の定時測定データを印刷します（P. 39 参照）。

※その際、手順④「排尿日誌を編集します」の手順は省いてください。

②印刷した排尿日誌データから排尿（あるいは失禁）した時刻の目安を検討します。

※別途、排尿や失禁の時刻について記録していれば、その時刻を次の手順で測定データに反映させてください。



↓ : 排尿した時刻の目安を検討

③最初に取り込んだ定時測定データ（csv ファイル）を開きます。

	A	B	C	D	E	F
1	時刻	測定値	排尿	尿意		
2	2022/3/20 7:50	0				
3	2022/3/20 7:51	18				
4	2022/3/20 7:52	16				
5	2022/3/20 7:53	0				
6	2022/3/20 7:54	22				
7	2022/3/20 7:55	30				
8	2022/3/20 7:56	13				
9	2022/3/20 7:57	0				
10	2022/3/20 7:58	0				
11	2022/3/20 7:59	30				
12	2022/3/20 8:00	33				
13	2022/3/20 8:01	34				
14	2022/3/20 8:02	0				
15	2022/3/20 8:03	35				

④ ②で検討した排尿（あるいは失禁）時刻の目安の時間帯にカーソルを移動します。

	A	B	C	D	E	F
1	時刻	測定値	排尿	尿意		
191	2022/3/20 10:59	268				
192	2022/3/20 11:00	256				
193	2022/3/20 11:01	270				
194	2022/3/20 11:02	267				
195	2022/3/20 11:03	296				
196	2022/3/20 11:04	328				
197	2022/3/20 11:05	17				
198	2022/3/20 11:06	14				
199	2022/3/20 11:07	26				
200	2022/3/20 11:08	26				
201	2022/3/20 11:09	0				
202	2022/3/20 11:10	29				
203	2022/3/20 11:11	35				
204	2022/3/20 11:12	32				

⑤測定値の推移を見ながら、排尿（あるいは失禁）後の時刻の排尿記録セルの数字を1に変更します。排尿（あるいは失禁）回数分、この操作を繰り返します。

尿意を記録していた場合は、同様に尿意記録セルの数字を1～5に変更します。

※尿意の記録は任意で構いません。排尿記録を編集することで、排尿日誌アプリにより排尿日誌は作成されます。

	A	B	C	D	E	F
1	時刻	測定値	排尿	尿意		
191	2022/3/20 10:59	268				
192	2022/3/20 11:00	256				
193	2022/3/20 11:01	270				
194	2022/3/20 11:02	267				
195	2022/3/20 11:03	296				
196	2022/3/20 11:04	328				
197	2022/3/20 11:05	17	1			
198	2022/3/20 11:06	14				
199	2022/3/20 11:07	26				
200	2022/3/20 11:08	26				
201	2022/3/20 11:09	0				
202	2022/3/20 11:10	29				
203	2022/3/20 11:11	35				
204	2022/3/20 11:12	32				

⑥排尿日誌アプリを使用して、編集後保存した定時測定データをパソコンに取り込み印刷します（P. 39 参照）。

※その際、手順④「排尿日誌を編集します」の手順は省いてください。

2.3.5. 残尿測定データの読み取り・保存

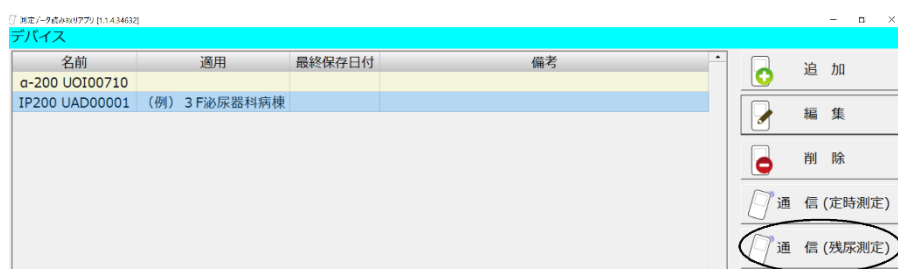
デバイス（リリアム IP200）から残尿測定データを読み取ります。

デバイスに保存されている残尿測定データ（最大 200 回分）を全てパソコンに読み取ります。パソコンに読み取った後も、デバイスに保存されているデータは消去されません。

①「測定データ読み取りアプリ」を起動します（アプリの起動および初回デバイス登録手順については、P. 34 参照）。

②アプリを起動した後、「リリアム IP200（デバイス）」の電源を入れ、ご使用になるパソコンの近くに置きます。

③データを読み込みたい「リリアム IP200」をリストの中からクリックした後、[通信（残尿測定）]をクリックします。

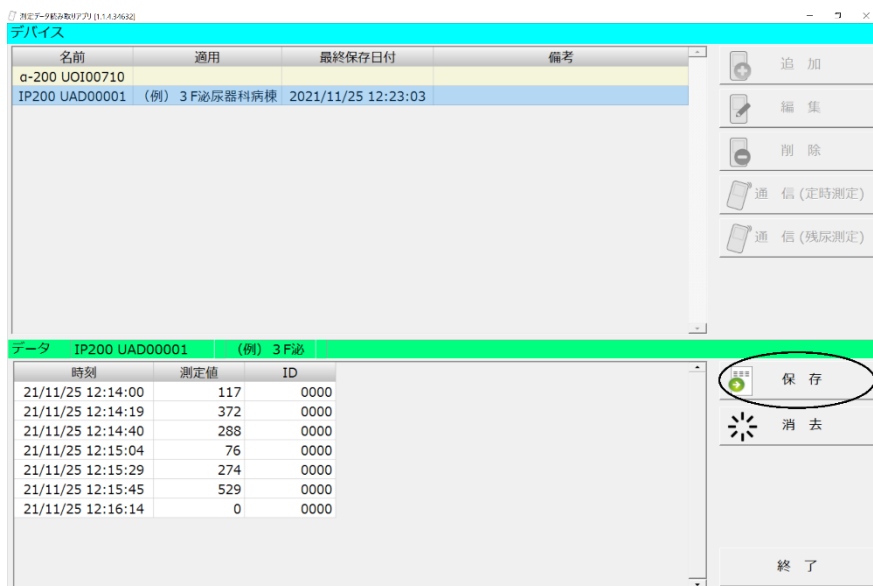


④通信が終了すると、「データ」欄に残尿測定データが表示されます。

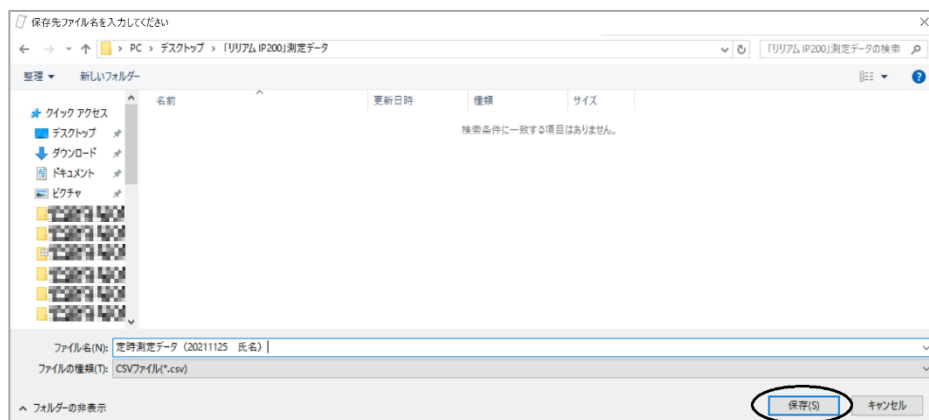
※「リリアム IP200」に定時測定データが保存されていない場合は、データの読み込みができません。

時刻	測定値	ID
21/11/25 12:14:00	117	0000
21/11/25 12:14:19	372	0000
21/11/25 12:14:40	288	0000
21/11/25 12:15:04	76	0000
21/11/25 12:15:29	274	0000
21/11/25 12:15:45	529	0000
21/11/25 12:16:14	0	0000

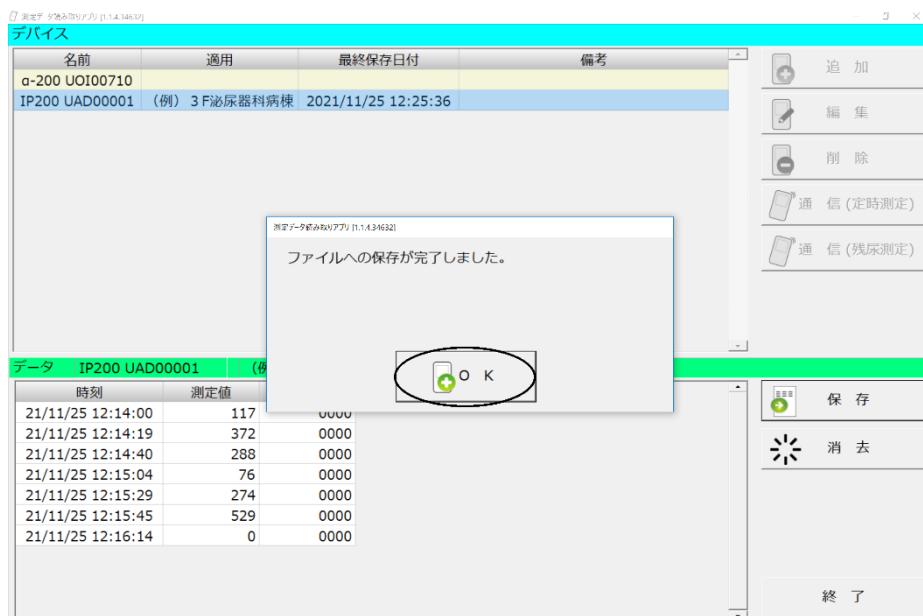
⑤残尿測定データが表示されている状態で、[保存]をクリックします。



⑥「保存先ファイルを入力」画面が表示されたら、ファイル名を入力して任意の場所を選択し、[保存]をクリックします。



⑦ファイルの保存が完了したら[OK]をクリックします。



◇保存されるファイル（例）

	A	B	C	D	E	F
1	時刻	測定値	ID			
2	2021/11/25 12:14	117	0			
3	2021/11/25 12:14	372	0			
4	2021/11/25 12:14	288	0			
5	2021/11/25 12:15	76	0			
6	2021/11/25 12:15	274	0			
7	2021/11/25 12:15	529	0			
8	2021/11/25 12:16	0	0			

ファイルは csv ファイルとして保存されます。

左から順に、時刻・測定値・ID が表示されます。

※ID は、自動的に割り振られません。

※ID 初期設定「0000」の場合、csv ファイルでは「0」と表示されます。

また、例えば「0357」と設定している場合には、頭の「0」を除いた「0357」と表示されます。

※「排尿日誌アプリ」のような変換アプリの用意はございません。

データをプリントアウトする場合には、任意で加工してください。

2.3.6. Bluetooth 通信がうまくいかない場合

- 症状 1 . . . 「リリアム IP200」の初回登録時に、[追加] をクリックしてもデバイスを検索できない（検索できたが、デバイスを登録できない場合も同じ）。

※ 「リリアム IP200」の電源が入っていない場合やパソコンの Bluetooth がオフになっている場合などは検索できません。



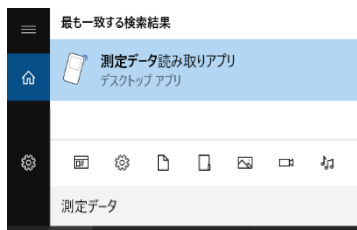
- 症状 2 . . . 測定データ読み取り時に、[通信] をクリックしてもデータを読み込めない。

※ 「リリアム IP200」に測定データが保存されていない場合は、[通信] をクリックしてもデータは読み込めません。



◎Bluetooth 通信がうまくいかない場合は、以下の手順を試してください。

①パソコンの検索機能を活用し、「測定データ」と入力し検索します。



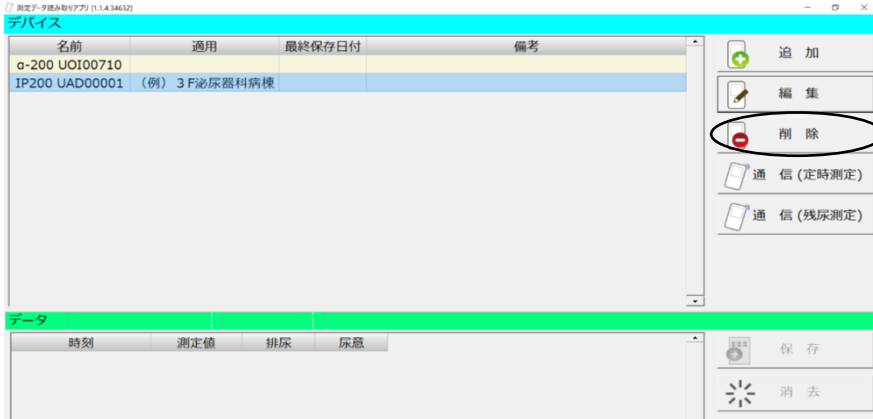
②「測定データ読み取りアプリ」を右クリックし、続いて「その他」[管理者として実行] をクリックします。



※この操作は、システム管理者にご確認の上実行してください。

◎[管理者として実行]を試しても、定時測定データを読み込めない場合は、さらに以下の手順を試してください。

①登録したデバイスをクリックして選択した後、[削除]をクリックします。



②再度、使用する「リリアム IP200」を手順どおり登録してください。

※上記手順を試しても定時測定データを読み込めない場合は、
アプリのアンインストール・再インストールも試してください。

※不明な点等ございましたら、「株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター」まで
ご連絡ください。

◎Windows アップデートが保留になっている場合に、Bluetooth 通信がうまく
いかないという報告もあります。その場合には、Windows アップデート実施後に通信
確認を試してみてください。

~Memo~

~Memo~

~Memo~

第1版 2022年6月

株式会社リリアム大塚

Lilium Otsuka Co., Ltd.

<https://www.lilium.otsuka/>

製造販売元

株式会社リリアム大塚

神奈川県相模原市中央区中央1-1-1

発売元

株式会社大塚製薬工場

徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

販売提携

大塚製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先及びお問い合わせ先

株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター

TEL 0120-719-814(フリーダイヤル)